

令和2年度第2回坂戸市市民参加推進会議（書面審議）実施結果

【実施日】令和3年1月27日

【参加委員】6名

審議事項

1 平成30年度市民参加実績等に対する各委員からの意見

意見等

- ・「専門的な知識が要求されるため」という理由で公募委員のいない審議会等があるが、それでも市民の声と離れた審議をすることになっては現実に合わない。参加を検討すべきだと考える。
- ・市民参加が活発になっている「場」や「雰囲気」が必要で、アンケートにしても審議会にしても、設置や参加方法や学生参加など工夫の必要を感じる。
- ・協働事業は3件中止となり、残念ではあるが内2件はオンライン等で検討できたと思う。この環境は続くものであり、対応していくためにもオンラインサポートの充実は市としても対応が必要だと思う。協力出来ることはするので協働事業縮小という方向にはならないで欲しい。

1. 公募委員のいない理由に専門的な知識が要求されるとあるが再考を願いたい（11の審議会等）。専門的な知識を何処で判断するのか？
2. 市民コメントが少ないか無い状態をなくすには。
3. 坂戸市区長会・町内会は全体で154団体あり、副区長、副会長を含めると約300名いますので、この皆様方に審議会等の委員を委嘱できないか、又市民コメントにも参加することは出来ないか？
4. 公民館・交流センター合わせて9あり、利用者も多くいます。この利用者の皆様も市政に参加できないか。